

講座紹介	講座名	ふるさととやまの人物ものがたり2026		
	講座No.	U 2221	県民教授氏名	鈴木康裕

”ふるさととやまの人物ものがたり”シリーズも3年目に突入しました。7月22日に令和8年度の3回目として「用水をつくり新しい水田を開発」をテーマとして講義しました。紹介した人物は、「椎名道三」です。

椎名道三の特筆すべきことは、当時としては、画期的な技術だった石管を用いて谷を越えるサイフォンの原理を採用したことです。石管の石は、庄川町の金屋で採れる金屋石が使われています。金屋石の採掘現場跡は、対岸にある水記念公園から見ることが出来ます。



この日は、私の講義のほか、ユーチューブの動画や富山県映像センターからお借りしたDVDを鑑賞して一層椎名道三を理解しました。



このサイフォンの原理は、下水道の分野でも利用されています。私の経験でも、下水管を敷設する際に、どうしても規定の勾配がとれないなどの理由により、サイフォン方式を設計しました。

この講座を始める前に、塾生に「この人物をご存知ですか」と伺ったところ、「名前を聞いたことがある」がわずか1名、どんな業績をあげたか知っている塾生は皆無でした。まだまだ、とやまの先人、偉人を紹介しなければならないと思いました。